



慶光会だより

107号

令和6年8月吉日発行



ワークスひるぜん、リニューアル!

平成17年4月1日、日本財団の助成を受けて完成したワークスひるぜんが、知的障害者授産施設として事業をスタートしました。その4年後には製麺屋三座を増築するなど、事業をスタートしてからの19年間で利用者や地域のニーズに合わせて変化し、現在は就労継続支援B型事業所として岡山県内でもトップクラスの工賃を維持しています。19年間で事業形態が変化する中、建物にも変化がみられ始めました。外壁の亀裂や剥がれ、雨どいの変形など劣化がみられ、修繕が必要な状態となっていました。また、利用されている方々の年齢層も変化し、歩行に介助を要する方も増えている中で作業場が手狭となり、動線の確保が難しい状況となっていました。そこでこの度、日本財団補助施設の修繕・改造に関する助成事業を活用し、建物の維持のための修繕はもちろん、歩行器や車いすでも動線が確保でき、安心・安全・快適に作業ができる環境を整備するために改造工事を行いました。現在は使用していない厨房スペースを作業場へ改造し、広い場所での作業が可能となりました。以前は物を持ってすれ違うのにもギリギリだった動線も余裕ですれ違えるように

なり、一人ひとりがゆったりとスペースをとりながら作業ができるようになりました。また、以前作業をしていたスペースは休憩室へ変わり、食事をするスペースの他に、少し横になって休める部屋も作りました。約4か月の工事期間中、利用者の皆さんにはご不便をお掛けしましたが、7月9日から心機一転、新しい作業場で作業をスタートしました。利用されている方からは「広くていい。」や「作業場がきれいで嬉しい。」といった声が聞かれ、保護者の方からも「新しくなって喜んでいる。毎日通うのを楽しみにしている。」という声が聞かれました。

職員からワークスひるぜんを利用されている方へ生活介護や他事業所への移行希望を確認していますが、皆さんが「ワークスひるぜんに通って仕事がしたい。」と希望されます。今後も利用されている方々の思いに応えられる事業所であり続けられるよう、また、障害をお持ちでも高齢であっても環境を整えば仕事ができるという事業所であり続けられるよう、変化していきたいと思っております。

ワークスひるぜん管理者 丸山朝美

社会福祉法人 慶光会

〒717-0602 岡山県真庭市蒜山上福田1201番地8 TEL (0867)66-4069

ホームページも見てね!

慶光会

検索

より良い生活を目指して・・・

慶光会では、より良い生活に向けて一歩踏み出される方々の受け入れを行っています。今回は、2名の利用者さんにそれぞれの思いや本音を聞いてみました。



中島さんはデイセンターひるぜん(生活介護)から、かねてからの目標であるワークスひるぜん(就労継続支援B型)へ移行されました。

Q ワークスひるぜんに行こうと思ったきっかけは、何ですか？

昇段に合わせて将棋の免状を取りたいからです。免状を取るのにもお金がいります。ワークスひるぜんは頑張ったらたくさんお金を稼げるからです。

Q 実際にワークスひるぜんに行ってみて良かったことは何ですか？

頑張れば工賃に反映される。その分、今まで買えなかった物が買えるようになりました。姪っ子にお小遣いをあげることもできました。姪っ子がとても喜んでくれた時に頑張ってた良かったと思いました。



Q 実際にワークスひるぜんに行ってみて大変だったことはありますか？

想像していたより、力が必要な作業だったことです。プロ意識を持たないといけないと思いました。

Q 工賃を稼げるようになって変化はありますか？

自分で稼いだお金で、好きなアイドルのCDや将棋の免状、本などが買えました。

Q 今後の夢は何ですか？

今より多くの工賃を稼ぎたいです。将来的には障害者雇用で一般就労に就きたいです。

頑張り屋な中島さんですが、焦らず中島さんのペースで仕事に向かうことができるように職員もサポートしていきます。一緒に頑張りましょう！



兼光さんは見守りを行うことでより安定した生活ができるよう、生活の場をご自宅からグループハウスかわかみ(グループホーム)へ移されました。生活の場が変わったことにより、働く場所もワークプレイスマにわ(就労継続支援B型)からワークスひるぜん(就労継続支援B型)へ移られ、生活が大きく変化しました。

Q グループホームに人居されて5カ月が経ちますが、どうですか？

落ち着いていて、いいです。みんなと楽しく過ごせることがいい事です。

Q 楽しみは何ですか？

買い物で、お菓子を買に行くこと。(週末に他利用者さんと職員と一緒に、地域のお店へ日用品やお菓子など、買い物に出かけています)



Q グループホームに人居されて、大きく変わったことは何ですか？

自宅では車の運転をしていたけど、運転しなくなったこと。でも、困ったことはありません。

Q グループホームと自宅、どちらがいいですか？

(少し考えて)買い物や外出、ご飯を食べるのも自由がきいたから、家の方がいい。でも、人と話すことができるから、これからも、ずっとここがいいです。

Q 働く場所も変わりましたが、仕事はどうですか？

仕事内容は(袋詰めなので)大きな変わりはありません。(職員や周りの利用者さんにも)もう、慣れました。

ご自宅とグループホーム、それぞれ良いところ、不便なところがあると思います。兼光さんのグループホームでの楽しみが増えるように、兼光さんと一緒に考えていきたいです！

令和6年度 慶光会の基本方針

社会福祉法人慶光会では、今まで積み上げてきた知識や技術、経験という財産を大切にしながら、さらにより良い積み上げを行う1年にしたいという思いで今年度をスタートしました。既成概念にとらわれることなく、皆で検討し新たな視点やアイデアを見つけ実践することで、援助実践の向上を図る『再考と前進』を法人全体の方針としています。

具体的に法人としてどのような取り組みを行っているのか、ご紹介します。

1. ケース会議の充実

昨年度の取り組みの成果から、ケース会議の定期開催は定着しました。今年度は、さらにより充実したケース会議となるよう、関連事業所や外部機関からも積極的に情報収集を行い、様々な視点を取り入れたケース資料を基にしたケース会議を開催しています。そうすることで、自分達だけでは気付かなかった視点から利用者をとらえることができ、柔軟に支援の組み立てもできるようになっています。

2. 利用者像の変化やニーズに合った体制作り

あるグループホームでは夕食の時間を少し遅らせることで、日中事業所から帰宅された利用者が夕食前にゆっくりと入浴できるようになり、帰宅後の慌ただしさも解消されました。帰宅から就寝までにゆとりが生まれ、「職員ともっと話したい」という利用者のニーズに応えることもできています。その他の事業所でも、日々の日課に対して「これまでこうだったから」ではなく、今のニーズに合っているのか、職員都合になっていないか等、再考しています。

3. 自分自身を高める

職員一人ひとりのスキルアップが、法人全体の実践の質の向上につながると考えています。そのため、内部研修の開催や外部研修の積極的な参加はもちろん、今年度は、正職員全員を対象に法人外施設見学や病院見学を開催します。見学を通して新たな知識や技術を得ることはもちろん、自分たちができていること・できていないことに気付くことで、日頃取り組んでいる実践を振り返る機会にしたいと考えています。

4. 実践発表会の開催

昨年度、自分達が行ってきた実践を全職員で共有する実践発表会を開催しました。他事業所がどんなことに困難を感じ、どのような実践に取り組んだのかを知ることで、自事業所での実践の糸口を見つけることができました。この大切な実践発表会を今年度も開催し、法人全体のレベルアップに取り組みます。

今年度もそろそろ折り返しの時期にさしかかります。職員一人ひとりが『再考』の視点を持って取り組むことで、法人もさらに『前進』していきます！



世界パラ陸上競技選手権大会の応援に行ってきました！

令和6年5月17日に神戸で開催された「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」に慶光会のグループホームを利用されている川口梨央選手が走り幅跳びで出場しました。日本初開催であるこの世界大会に、慶光会の役員の方々と職員、川口選手の勤務先である有限会社ドアーズの職員の方々と応援に行ってきました。川口選手の世界舞台での堂々とした飛躍に、応援にもさらに熱が入りました。応援団の熱が届いたのか(?)見事、決勝に進出し、世界ランキングも13位から7位へとランクアップする結果となりました。緊張とプレッシャーのある中、最大限のパフォーマンスをした川口選手に感動しました。見る人に感動を与えられるスポーツの力はすごいですね！

競技終了後は川口選手と一緒に喜びを分かち合いました。

これからも、世界に羽ばたけ！



職員さんの本音を聞かせてちょうだい!

社会福祉法人慶光会に入職されて2年目の職員さんに、実際に慶光会で働いて感じたことについて聞いてみました。



- ① どんな時にやりがいを感じますか? ② 実践から学んだ事がありますか?
③ 実際のところ、職場環境はどうか? ④ 夢は何ですか?



蒜山慶光園勤務
(入所施設)

- ①言葉での意思疎通が難しい方も、日頃から関わることで言葉で訴えられなくても変化に気付けるようになった時にやりがいを感じます。
②心配で関わり過ぎてしまい余計に不調になられたという事がありました。この経験

から利用者の方も不調の時はしんどいので、支援者はある程度距離を取り見守る事で相手がクールダウンするのを待つ事も大切な支援だと思います。

- ③他の会社や法人と比べて休日も多く、希望休も取りやすいです。休日は友達と旅行やライブに行くことができますので、WLBが充実しています。また、困った時は身近に相談できる先輩職員もいるので心強いです。
④学生時代に実習で行った就労継続支援B型事業所では、重度の方一人ひとりに合わせた就労支援をされていました。自分もいつか就労の現場で一人ひとりに合わせた就労支援ができる職員を目指したいです。プライベートは韓国のアーティストのライブ(現地)に行く事です。



蒜山慶光園勤務
(入所施設)

- ①話をすることが難しい方もおられますが、非言語を使いながら、相手に上手く伝わった時にやりがいを感じます。また、先輩に自分の実践やアイデアを褒めてもらったり、採用してもらえた時にもやりがいを感じます。

②転倒された時、その場の対応も大切ですが、今後、転倒しないよう環境整備や、見守りの方法の検討など、リスクマネジメントを行うことの大切さを学びました。

- ③プライベートや家庭の事情に合わせて休みをもらいやすいです。変則勤務だからこそ平日休みも多いので、外出先が混んでいないことも魅力です。
④利用者の方との関わりを通して良いところに目を向け、根拠に基づいた実践を利用者と一緒に見つけていきたいです。また、障害分野に関する資格を取得したいです。プライベートでは、自分の好きなことをして、好きな物を食べて、旅行に行って、ゆっくりとした時間を過ごしたいです。



ワークスくらよし勤務
(就労継続支援B型)

- ①利用者の方が出来る事が増え作業の幅が広がる、それを一緒に喜べることです。その他、作業をミスなく予定通り終わられた時にもやりがいを感じます。
②作業は一般市場に流通している商品に携わっているため、ミスが起きると利用者の方の作業が無くなる可能性もあります。そのため、たとえ福祉事業所の作業であっても、確実に作業することの大切さを学びました。また、利用者の方への声掛け一つで予想以上の力を発揮されることがあり、声掛けの大切さも実感しました。

- ③先輩方のフォローがあるので安心して働くことができます。また、趣味の野球の試合がある時には希望休が取りやすいので参加しやすいです。良い環境だなと思います。
④夢はお金を貯めて良い家に住んで、良い車に乗る事です。そのために仕事を頑張ります!

2025年度
新規採用
募集中!



ありがとうございます。

保護者会の皆様
後援会の皆様
池田 倫也様
伊豆丸 眞美様
伊豆丸 千代美様
坂手 民枝様



第15回 ふれあい祭りのお知らせ

倉吉、初開催!!!

開催日時

令和6年9月28日(土) 10:00 ~ 15:00
*雨天時、規模を縮小して開催します

場 所

ワークスくらよし(倉吉市関金町関金宿2710-1)

今回は倉吉で開催します! 出店・イベントもたくさんありますので、ぜひ、お越しください。皆様のご来場、お待ちしております。

